一九九一年九月三日　第三種郵便物認可　毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行　発行人　関西障害者定期刊行物協会・大阪市天王寺区真田山町二十二　東興ビル4F

KSKQ 萌風香

2018 年度　秋号

社会福祉法人萌　広報紙　NO.62.　2018.10.31　編集人　社会福祉法人萌　定価 150 円

〒630-0256　奈良県生駒市本町 7-14 ブルームビル２階　ひだまり内　　TEL　0743-85-4196

誰もが生き活きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

災害から得た教訓・これからの取り組み

今年は地震による被害や豪雨、台風による風水害が全国各地で頻発しています。今年６月の大阪北部地震では交通機関運休による移動手段の断絶、通信会社の電話回線制限（緊急通報確保のため）よる電話不通など、施設運営や利用者、職員の状況把握に支障がでました。また大阪北部地震をきっかけに多くの企業が災害リスクへの対応、交通機関では早期の計画運休対応がスタンダードになってきています。

その状況の中、萌としても防災対策、災害時対応を具体に検討し、

① 気象警報発令による施設開所基準の作成
② 災害時の管理職間の連絡ツールの確保
③ 災害時安否確認システムの導入

について取り組みました。今後、災害が起きても早期に支援体制を築き、事業運営を継続していくための災害時対応マニュアル、事業継続計画（BCP）を早急に策定していきます。

（総務部部長　出口裕生）

「元気にはたらくために」非常勤職員研修会を実施

萌で働く職員 187 人のうち約 56%を占める非常勤職員を対象とした研修会を行いました。

法人として初めての試みで大和郡山、田原本の２会場で実施。福祉現場における不安や悩みの軽減につなげることが目的です。

大和郡山会場の参加者は 34 人。講師は永石淳哉西和エリア部長。「精神障害者の特徴と接し方について」と題し、事例を交えながら精神疾患やそれに伴う障害、特に認知機能障害の説明。関わる姿勢として「待つ」「見守る」「決めつけない」の３つが重要であること。「自分を助ける」という考え方の紹介などがありました。

私たちの仕事は苦労と向き合っていく仕事。だからこそ①自分自身を客観的に見る機会を作る②悩みや苦労を話せる仲間を作る③悩みの軽減に結びつける方法や情報・研修や検討の場を作ることが「自分自身を助ける考え方」につながり、その中でも「仲間の必要性」を参加者に熱く語りかけました。

その後の質疑応答では「調子の悪い時にどう接したらいいか」「することがいっぱいあってゆっくり話せない」「情報共有の必要性」など現場ならではの発言が出ました。

参加者からは「考え方・視点の持ち方が学べてよかった」「具体的な話しをもっと聞きたい」「こういう研修会をもっとすべき」といった感想があり、今後の研修会の質の向上も必要です。

四徒季然

社会福祉法人萌
理事長　吉川郁子

日本各地で災害が続いています。被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

災害時に命を守り施設を安心で安全なものにしておくために、日頃から備えてきたつもりでしたが、今回その「備え」は実効性のないものだったことに気づき、猛省しています。

備えの不十分さと同じく身に沁みたのが心細さです。昼夜を問わず警戒情報を知らせるメール音が鳴り響き、台風が過ぎ去るのをじっと待ち不安な時を過ごしました。

テレビから情報を得るだけでなく、「怖いね」「どうしようか」と誰かに話し、相談できることが心の安定につながるのだと実感しました。

病気や障害があればなおのことでしょう。地域で暮らす人たちの「心の支え」として役に立つ法人でありたいと思いました。

生駒エリア			
生活支援ｾﾝﾀｰコスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援ｾﾝﾀｰコスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050

第３回いこまいい街にぎわいフェスタ 雨にもめげず　参加者１５０名！

会場を盛り上げる実行委員長

あいにくのお天気の９月９日。初めて室内での開催でしたが、元気いっぱいのキッズダンスに会場が一体になって大いに盛り上がりました。

ミカズキンさんの歌声とケーナの音色にうっとり。紙芝居や、演奏、朗読の仲間のパフォーマンスには尊敬のまなざしが。

生駒市内の事業所や後援会が販売する美味しいものや素敵なグッズに囲まれて、楽しみながら、心の健康や福祉について知ってもらうことができました。

祝　コスモールいこま 15 周年

開所１５周年記念お茶会を８月３１日に地域活動支援センターコスモールいこまで行いました。

手作りの飾りつけやゲームの企画などを準備し、日頃お世話になっている方々を招待。イントロクイズやコスモールクイズ、差し入れもたくさんのバイキング状態で大盛り上がり。

家族会、後援会、ボランティアの方々とこれまでの道のりや思いを語り合い、冗談も言いながら楽しい一時を過ごしました♪

多くの出会いに支えられたコスモールいこま、これからもよろしくお願いします。

お世話になった方々と乾杯！

お詫び：前回の萌風香 7 月 31 日発行号の最終ページ「にぎわいフェスタの告知」において、開始時間が 10 時となっていましたが、11 時の間違いでした。お詫びし訂正いたします。当日、10 時に来ていただいた皆様、大変申し訳ございませんでした。

ライク通信

なら西和就業・生活支援センターライク　0743-85-7702

就職に向かって！「ライク就職セミナー」を開催

「しょうがいしゃ就職面接会」に向け、採用面接時のマナーを身につけることを目的に、ライクで「就職セミナー」を開催しました。奈良学園大学のキャリアセンターで就職サポートをされている上原祥子氏を講師に招き、面接のポイントについての講義と、模擬面接を行いました。会場は緊張感が漂い、本番さながらの雰囲気でした。参加者から「実践に近い形で面接ができて、良い経験になりました。」と感想が挙がりました。

明日から使えるマナーに意欲も高まります

郡山エリア			
生活支援ｾﾝﾀｰふらっと	0743-54-8112	地域活動支援ｾﾝﾀｰふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
Bon Café	0743-55-7772		

郡山エリアの中期計画（2018～2020）の軸は「地域に巻き込まれる」です。「巻き込む」のではなく「巻き込まれる」ことに重点に置き、地域と共に歩む姿勢で理念の実現を目指しています。

その具体的活動を二つ紹介します。

まちのイベントに溶け込む

小泉地区の「片桐ふれあい祭り」。柳町商店街地区の「柳神くん祭」に参加を続けています。

両イベントとも事業所のある地元で行われます。来客者からは「あそこのお店の人やね」と声をかけられることも。実行委員会から参加し、柳神くん祭では祭りの企画にも参加しています。

今年で第８回目を迎える柳神くん祭は、飲食店やフリーマーケット等の出店に加え、金魚の展示なども行うなど、大和郡山市ならではの地域性の感じられるお祭りです。

来場者は年々増加しており、萌の郡山エリアが「子ども広場」を昨年から担当しています。金魚すくいや、輪投げ、くじ引きなど親子が楽しめるよう、みんなで協力して盛り上げました。

商店街の方からの「人出不足の中、本当に助かってます」「皆さんイベント慣れしてはるから、安心して任せられます」との声にいっそうの「やる気アップ」につながっています。

秋晴れの中　行列は絶えず

「ここのクッキー美味しいで　あんたも買い」

地域包括支援センターへ訪問

誰もが地域で暮らしやすくなるために、他分野とのネットワーク構築を進めています。

まず今年度は介護保険の分野とのつながりを作ろうと、介護の相談窓口である地域包括支援センター（大和郡山市内４か所）の訪問を始めました。

そのうち２つのセンターを訪問した際には、具体的な支援内容から今後の連携ポイントなどを話し合いました。

高齢者家族が当事者を抱えていたり、当事者が高齢になっていくケースがすでに多くあるとのこと。「こういう場合はどうしたらいいか」と意見交換しているうちに時間があっという間に経っていきました。

今後、家族全体をどう支援していくか共に考えたり、お互いの支援の勉強会を開いていくことになっています。

☆感謝☆　福祉車両助成していただきました！

地域活動支援センターふらっとに、公益財団法人 JKA の競輪とオートレースの補助事業（福祉車両整備補助事業）を受けた福祉車両が先日納車となりました。

これまでは送迎をピストン輸送で対応することもありましたが、快適に送迎できるようになりました。外出レクリエーションなど、活動の幅がひろがり、期待に胸を躍らせています。本当にありがとうございました。

西和エリア			
生活支援ｾﾝﾀｰぽると・ベル	0745-43-5541	地域活動支援ｾﾝﾀｰまーぶる	0745-75-6545
らそら	0745-70-1577		

創業のサポートを「らそら」も応援

斑鳩町の産業の担い手を応援するために、創業支援の拠点とする斑鳩町創業支援センター『ふらっぴん♪』が、10月１日にオープンしました。運営業務を地域活動支援センターまーぶるが受託し、らそらの利用者が接客などの仕事に関わります。

「事前に接客練習した時にはどんな人たちが来るかと不安でいっぱいでした。いざオープンしてみると堅くならなくても自然に人と接すればいいことがわかりました」と話すらそらの利用者Ａさん。

新たな取組みに期待を寄せる『ふらっぴん♪』開所セレモニー
（左から家郷町商工会会長、伴町議会議長、中西町長、吉川萌理事長）

対応マニュアルを作成し、来た人にどのように接するか練習しました。Ａさん同様、他の利用者も戸惑うこともありました。しかし、新しい仕事が始まることで、利用者の希望や夢も膨らみます。

『ふらっぴん♪』は『ぽると・ベル』『らそら』『まーぶる』が入る建物に隣接しています。

起業を考えている人への創業支援相談、テレワーク（情報通信技術を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方）の仕事ができる場所、地域の方々が交流できるスペースなどを備えています。

事前準備も入念に

「気軽に立ち寄りやすい雰囲気を大切に、創業について身近に感じられる場になれば」と斑鳩町長の中西和夫さんは話します。

起業を考えている人たちの応援を、斑鳩町とらそらの仕事でサポートし、働く人みんなが輝ける『ふらっぴん♪』になるよう、運営していきます。

『ふらっぴん♪』の由来は、誰もが気軽にふらっと立ち寄れて、みんなが笑顔で羽ばたける（flapping）ところになってほしいと名付けられました。

グループホーム　＜楽都　もえぎ館　みらい館　彩友館　メゾン高田　橿ノ木ハウス＞グループホーム事務所　0743-85-4112

大和高田市家族教室で家族が体験談を語る

「(親元を離れて暮らすことは)始めはとてもじゃないが無理だろうと思っていたが、段々と会いに行く回数も減り、今ではほぼ会わなくても暮らせている」「家では全く何もできなかったのに、グループホーム(以下、ＧＨ)では自炊をしている時もある」「自分(親)の体力があるうちに離れて暮らすことを決めてよかったと思っている」入居者の父親からの話です。

９月12日(水)に大和高田市主催の家族教室で、ＧＨの利用を決めた時の想いや入居後の家族自身の生活や心情の変化などを語りました。参加者からは「自分の子供も全く同じ状況です」「親にエネルギーがある間に何とかしたいと思いました」など、共感の声が聞かれました。

高　田　エ　リ　ア			
生活支援ｾﾝﾀｰなっつ	0745-23-7214	地域活動支援ｾﾝﾀｰなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	咲咲(ささ)	0745-53-2233
あっとほーむ香芝	0745-44-8023		

おいしいお弁当、いただきます！

～食事提供、スタートしました～

最近のあっとほーむ香芝（以下、あっとほーむ）では 11 時半を過ぎると「今日のメニューは何？」、「今日は白ご飯とサバの南蛮漬けですよ」との話が始まります。また外を見ては「まだかな、まだかな」と、ある車が到着するのを待ちわびています。

こんな光景が見える理由は「お弁当ハウスおかわり」（以下、おかわり）のお弁当を楽しみに待っているからです。

あっとほーむでは 7 月から食事提供のサービスが始まり、「おかわり」のお弁当をお昼に届けてもらっています。

メンバーからは「某お弁当屋さんより安くておいしい」「普段食べない野菜や魚が食べられてうれしい」と大好評です。お弁当を楽しみに毎日あっとほーむに来所するメンバーもいています。

昼食会や外食レクなど、食べることが大好きなあっとほーむメンバー。おいしいお弁当を通して、あっとほーむがより一層賑やかになりました！

※食事提供は、施設内で安価で食事することができるサービスです。

癒しのお弁当タイム♪

人とつながる楽しさ

おかわりでは、カフェレストラン「なごみカフェおかわり」がある片塩商店街のブログを月曜日に担当しています。自分の店のことはもちろん商店街での出来事や他の店の紹介も行います。

≪片塩商店街ブログ≫

「ブログ見たんだけど、まなコロまだ残っている？」息を切らしながら、明らかに急いで買いに来ましたという感じのお客さん。

「まだ、残っていますよ」

「よかった。４個もらうわ」

毎週水曜日はこれ！！

コロッケを入れながら、普段からお客さんの対応に慣れているメンバーが、あの手この手でコロッケの説明をします。ひとつのコロッケで会話がはずみます。

「ありがとうございました。またお願いします！」

まなコロとは、大和まなの塩漬け入りのコロッケのこと。今回、新商品の販売を事前にブログで宣伝していたため、常連さんから初めてのお客さんまで買いに来てくれています。

最近は、ＳＮＳで情報を得る時代。私たちも、常に新しい情報を発信しながら、新しい出会いにワクワクしています。

橿原エリア			
生活支援ｾﾝﾀｰぴあぽ～と	0744-24-2020	地域活動支援ｾﾝﾀｰぴあぽ～と	0744-24-2070
生活支援ｾﾝﾀｰいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Ｐｉｔ八木	0744-21-5666		

自治会とのつながり

うろこ雲の浮かぶ秋の晴れた日曜日、ぴあぽ～とのある久米町の自治会では、草引きがありました。

ぴあぽ～とも自治会の一員として参加しました。朝早くからたくさんの人が集まり、集会所の剪定やこども広場の草引きを行います。前日が雨だったので、土は柔らかくなって草は引きやすくなっていました。そのおかげか作業を進めていくと現れるダンゴムシや蚊とも格闘しました。

ふと疲れた体を伸ばし、顔をあげると、トンボがたくさん集まっていました。蚊に刺されあとを掻きながら夏から秋への季節の移り変わりを感じました。作業は１時間半ほどで終えることができました。

久米町では毎年秋に草引きを行った広場で運動会があります。ぴあぽ～とも毎年、草引きや運動会など自治会の活動に参加しています。参加することで自治会のみなさんと顔見知りになり、交流ができる貴重な機会となっています。

まだまだ暑い秋の空

今年も熱狂！野球観戦！

８月 19 日、オリックスバッファロース対ソフトバンクホークスの試合の観戦に京セラドームへ行ってきました。Pit 八木では毎年、奈良県からいただいたチケットを使って野球観戦に行っています。

観戦後に記念撮影♪今年も大満足

「球場の雰囲気が好き」「野球を観に行くなんて、久しぶりでワクワクする」「色んな食べ物が売っているのが楽しみ」と、毎年恒例の方も、初めて参加の方も、行きの電車の中からウキウキと会話が弾みます！球場に到着して席に着くとほっと一息。球場の雰囲気に圧倒されつつ、売店を見て回ったり、今日の出場選手をチェックしたりと試合開始までの時間も楽しみます。

いざ、試合が始まると、みんな真剣な表情で応援。ヒットやホームランが出ると笑顔で拍手です！そして、７回になるとジェット風船を膨らませ、みんなで飛ばします！！今年は試合の終盤に両チームの点数がたくさん入り、手に汗握る戦いでした。

「今年も楽しかったな～」「また来年も行きたいな～」と帰りの電車の中でのんびり話しながら帰ってきました。夏の楽しい思い出になりました。

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ　0743-54-0800

65 歳になる障がい者の介護保険自己負担分の無料化

平成 30 年４月１日から、高齢障害者の方の利用者負担軽減制度が始まっています。

特定の障害福祉サービス（ヘルパーや通所、ショートステイ）を 65 歳になるまでに５年以上使っていた方が、介護保険で同様のサービスを使い始める場合に、一定の要件を満たすと、介護保険法の自己負担分のお金が申請によってかえってくる制度が始まっています。詳しくは、お住いの市町村の障害福祉担当課までお問合せください。

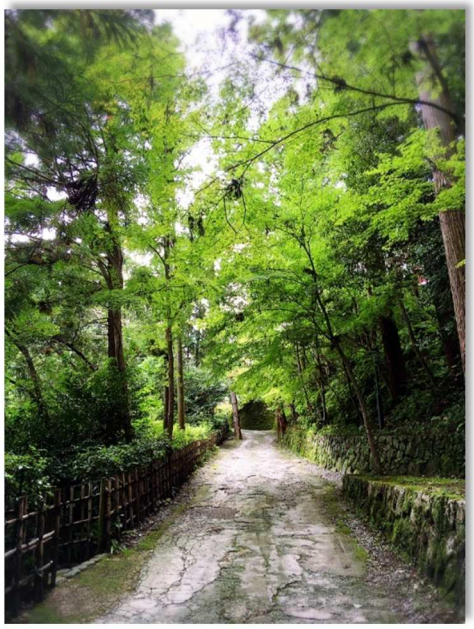
利用者投稿コーナー

梅本康成さん
世界混迷

冨永真弘さん
食欲の柿（あき）

えいぶる
食欲の秋！みんなで作ったパンケーキ(^o^)丿

榎田伸也さん
葛城山秋景



チュン助さん
写真で浴びようマイナスイオン in 松尾山

「秋」をテーマにした自慢の写真の数々。利用者投稿コーナーにたくさん応募ありがとうございました。

一九九一年九月三日　第三種郵便物認可　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行　発行人　関西障害者定期刊行物協会・大阪市天王寺区真田山町二-二　東興ビル4F

Moe Mentalhealth Messageboard

▽「萌 後援会」からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌ﾌｪｽﾀをはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は

郵便振替　社会福祉法人萌後援会

00920 - 4 - 221824

後援会事務局（萌総務部内）

０７４３－５４－０８２１（大東）

▽生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援（交通費など）と、啓発活動（トーク＆ライブひだまり、こころの市民講座など）をしています。

年会費　一口２０００円から。

新規会員募集中！

連絡先：コスモールいこま内

0743-73-0900

第23回トーク＆ライブ

ひだまりクローバー2018

まちで暮らす精神障がい者と市民の交流イベント。今年は、「川添光代クリスマスジャズコンサート」と、萌のメンバーの演奏や朗読、手話サークルの合唱です。ご近所やお友達も一緒にぜひご来場ください。

日時：12月15日（土）13時半～16時

場所：生駒市コミュニティセンター 文化ホール

参加協力券：1000円

（障がい者手帳ご提示の方、小学生以下無料）

問い合せ：コスモールいこま

（0743-73-0900）

▽ハートフルこおりやま

（精神障がい者の社会参加をすすめる会）

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は１口500円(2口からお願いします)です。

連絡先：会事務局　ふらっと内

0743-54-3977(篠田)

▽さくら会（大和郡山地域家族会）

＊基本的に第３日曜日

時　間：13：30～

場　所：三の丸会館

連絡先：ふれあい工房

0743-54-6701

▽ひだまり会（生駒地域家族会）

＊基本的に第3土曜日

時　間：１３：３０～

場　所：市民活動推進ｾﾝﾀｰららポート

連絡先: コスモールいこま

0743-73-7000

▽西和家族会（地域家族会）

＊基本的に第4土曜日

時　間：13：30～

場　所：王寺町中央公民館

連絡先：　ぽると・ベル

0745-43-5541

▽すみれ会（葛城地域家族会）

＊基本的に第3日曜日

時　間：１３：３０～

場　所：大和高田市中央公民館

連絡先：なっつ

0745-23-7214

▽のぞみ会（地域家族会）

＊基本的に第２日曜日

時　間: 13：30～

場　所：県心身障害者福祉センター

連絡先：ぴあぽ～と

0744-24-2020

第８回　西和ふれあい祭り

自分たちの元気な姿を見てもらえるよう、地域の店の出店、活躍している団体のステージ発表など、互いに楽しめるイベントを今年も企画しています。

精神保健福祉に関する情報定協や啓発を進めるとともに、まちの活性化につながるイベントを目指しています。

今年は西和地区の萌の事業所を飛び出して斑鳩町中央公民館で行います。

日時：11月25日（日）10時～14時（雨天決行）

場所：斑鳩町中央公民館

参加費：無料

問い合せ：地域活動支援センターまーぶる

0745-75-6545(丸山)

★　萌風香の購読について　★

萌風香は年４回 1500 部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用者以外の方で「引越しして住所がかわった（住所変更）」「次からは送ってもらわなくても結構です（購読中止）」という場合、お手数ですが必ずひだまり　電話：0743-85-4196 までご一報くださいますようよろしくお願いします。

今年度の萌フェスタは「郡山エリア」で開催

開催日は・・・**2019年２月16日（土）**

会場は・・・**大和郡山市商工会館「まいどホール」**

サブタイトルは・・・**「つなぐ　つながる　郡山」**

ただいま実行委員会にて楽しい企画検討中です。詳細はまたご報告します！